

令和6年度第1回日進市特別職報酬等審議会 議事要旨

日 時 令和6年11月22日(金) 午後3時30分から午後5時まで
場 所 日進市役所本庁舎4階 第1会議室
出 席 者 田中淳子、山本恵、市川豊、伊豆原一成、大田知之、佐藤里美、板垣恵美子、武田敬三、
早乙女美幸(敬称略)
欠 席 者 なし
事 務 局 石川雅之(総合政策部長)、杉田武史(同部調整監)、柏木晶(同部次長兼人事課長)、鈴木
崇正(同課主幹)、味岡正樹(同課給与厚生係長)、水野高仁(同課同係主任)
傍聴の可否 可
傍聴の有無 有(3名) ※Zoomによる傍聴

次 第

- 1 あいさつ
- 2 任命式
- 3 会長の選任について
- 4 会長あいさつ
- 5 諮問
- 6 議題
特別職の報酬等の額について
- 7 その他

配布資料

- 資料1 日進市特別職報酬等審議会
- 資料2 日進市特別職報酬等審議会【追加資料】

議事要旨

特別職の報酬等の額について

はじめに、日進市特別職報酬等審議会の会長へ日進市長からの諮問書を交付した。

続いて、諮問に基づき審議に入った。審議にあたり事務局から資料1について説明を行った。
以下、主な質疑応答は次のとおり。

委員:他団体の比較について近隣団体としているのはなぜか。

事務局:全国比較や県内比較も可能ですが、近隣との比較が重要であると考え近隣としています。

委員:日進市に地域手当がないのはなぜか。

事務局:平成 27 年度から廃止しています。特別職等の報酬については、生活給の要素より職務給の要素が強いためです。

委員:令和 3 年度以降財政力指数が低下している要因はなにか。

事務局:財政力指数は3ヶ年平均となっておりますので、地方税収等に新型コロナウイルス感染症の影響を受け始めた令和 3 年度あたりから減少傾向にあります。

委員:18 ページの人件費比率に会計年度任用職員や派遣職員は含まれているのか。

事務局:会計年度任用職員は含まれておりますが、派遣職員は含まれておりません。

委員:DX 推進を進めることで人件費の肥大化を防ぐとともに、第 6 次総合計画の目標を見える化して、市民に分かりやすく公表してほしい。

そして、やるべきことを進めることで、報酬の引き上げについても理解が得られると考えている。

委員:近隣との比較をしているが、立地上の近隣というだけで、人口とか財政状況が類似している団体はないのか。

事務局:瀬戸市や大府市は人口面で類似していますし、尾張旭市や長久手市とは財政状況の面で類似しています。

委員:資料の中に類似団体と書かれているが、市以外に特別区などが含まれるのか。

事務局:全国の産業構造の類似した市のみが含まれています。

委員:日進市において、特別職や議員が積極的に取り組んでいくべき事業や方向性などはあるのか。

事務局:大きな事業としては令和 7 年度に開駅予定の道の駅があります。その他、市民の方が安心して住み続けていただけるよう、議員の皆様のご意見を伺いながら、第 6 次総合計画に示されている市の将来都市像を目指して各分野で取り組んでいます。

委員:人件費の割合が高くなることで、住民サービスの低下につながることはないのか。

事務局:これまでも、国の人事院勧告に準じて給与改定をしていますが、財政状況を鑑みて人件費の

拡大により他の事業に影響が出ないように留意しています。

委員:示されたデータは結果ばかりである。民間企業においては、まず目標を定めてそれに向かって進めるのが一般的である。人件費比率について目標はあるのか。

事務局:人件費比率としての目標はありませんが、各事業における目標は掲げています。それらの目標を達成することで、住民サービスの向上につながるものと考えています。

また、経常収支比率については、高すぎても低すぎてもいけないので現在の水準を保持していきたいと考えています。

委員:他の自治体の特別職の報酬についても、審議会等の審議を経て決められていると思う。日進市においても、特別職や議員が市民の負託に十分応えているかを鑑みて、報酬を上げるべきなのか据え置くべきなのか下げるべきなのを議論する必要がある。

ここで、議論を進めるために資料2を配布し、事務局から説明を行った。

以下、主な質疑応答は次のとおり。

委員:引き上げ後の特別職等の額は、他団体と比較するとそこまで高くない。より力を発揮するために報酬を引き上げてはと思うがいかが。

事務局:確かに、その観点は重要であると考えています。ただ、事務局案としては、財政状況など市政全般を見渡すと、現状ではお示した額が相場ではないかと考えています。

委員:特別職の報酬は上げるべきと思うが、市民にそのしわ寄せが来ないようにしてほしい。

事務局:十分留意いたします。

委員:事務局案では1.4%の引き上げとされているが、最近の賃金上昇率をみていると低いようにも思うがいかがか。

事務局:人事院が民間の役員の報酬についても調査し、それを踏まえた上げ幅となっています。市独自で指標を作るのは難しいので国の統計によることとなります。

委員:長久手市の特別職の報酬が他の自治体に比べて低いように思うが何か把握しているか。

事務局:把握しているところでは、このなかで市制が一番遅いことによるものだと考えています。

委員:報酬を引き上げるにあたっては、特別職や議員には市民が日進市にいつまでも住み続けていきたいというふうに思ってもらえるような市を作っていってほしい。

委員:市民から特別職等の報酬について意見が寄せられることはあるのか。

事務局:議会の審議でご意見をいただくことはあるが、市民の方から直接いただくことはありません。

ここで、質疑も尽きたため、特別職の報酬について、「引き上げ」、「据え置き」又は「引き下げ」について、意見を確認した。

各委員の意見は、全員「引き上げ」との意見であった。意見の中で、特別職や議員に市の発展へ寄与し、職責を全うしてほしいとの意見や市民が安心して住み続けられるような施策の展開や財政の安定確保などの要望が出された。